

平成二十七年 武蔵野東中学校

入学試験問題

国語

□ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

五年生の教室は川つぷちに新しくたった校舎のどつつきであった。川にむかった窓からのぞくと、おくみ（和服の前はばを広くするため、左右の前身頃にぬいつける細長い布）のような形の、せまい三角地をはさんで、高い石がきは川床まで直角にきずかれていた。危険防止の土手は地面から三尺（一尺は約三〇センチ）ほどの高さでめぐらしてあったが、土手はあまり用をなさず、子どもらはわずかな遊び時間をもかってに石がきをつたって、川のなかへおりていった。おもに男の子だった。川上に家は一けんもなく、ちろちろの水はきれいだった。山から流れてきてはじめて、ここで人のほだにふれる水は、おどろくほど、つめたく澄みきっていた。子どもらにとっては、ただ手足をふれているだけで、じゅうぶん満足のできるころよい感触であった。水はここではじめて人の手にふれ、せきとめられてにごった。だれがいいだったのか、うなぎがいるといううわさがたつてから、子どもたちの熱意は川底にあつまり、毎日、土手の見物と①川の漁師とのあいだで時ならぬやりとりがつづいた。川床の石をめくっては、まだ一度もとれたことのないうなぎをさがしているのだが、でてくるのはかにばかりである。それでもけっこうおもしろらしく、漁師も見物もふえるばかりだった。くるぶしをかくしかねるほどの水量は、遊び場としても危険はなく、だから②小石先生もだまってながめていた。

「せんせ、ずがに あげよか。」

保護色なのか泥色をして、足にあら毛のあるかにつかまえて、うでいっぱいさしだしたのは森岡正だった。

「いらん、そんなもん。」

「食べられるのに、せんせ。」

「いやだ、そんなもん食べたら、足や手にひげがはえるもの。」

川底と土手からどつと笑い声がおこった。窓ぎわの先生もちろんわらいころげたのだが、ついさっきまでの先生は、そんな笑いとは遠い気もちで、窓の外にくりひろげられた風景をながめていたのであった。川のなかでも土手の上でも、岬の子どもらは知らず知らずかたまっていた。だが、^③そこに松江のすがたを見ることができず。その目に見えぬすがたが、ときどき先生の心を占領してしまうのだ。

^④母親が亡くなつてから、松江は一どもこの教室にすがたをあらわさなかった。窓ぎわの、前から三ばんめの松江の席は、もう二か月もからつぽのままである。入学の日のことを思いだして、ゆりの花の絵のついたべんとう箱をみやげに松江の家をたずねたのは、彼女の母親が亡くなってからひと月ぐらいたっていた。ちょうど川本大工も家にいて、男泣きに泣きながら、赤ん坊が死なないかぎり、松江を学校にはやれぬといった。あまりに事情が明白なので、それでも松江を学校によこせとはいえず、だまつて松江の顔を見た。小さな赤ん坊をおぶったまま、父親のわきにちよこんとすわつて松江もだまつていた。へんにまぶたのはれて見える顔は、頭のはたらきをうしなつたようにぼんやりしていた。そのひざの上へ、「マツちゃん、これ、ゆりの花のべんとう箱よ。あんたが学校にこられるようになったら、つかいなさいね。」あまりうれしそうにもせず、松江はこつくりをした。

「早く、学校へこられるといいわね。」

いってしまつて、はつとした。それは赤ん坊に早く死ぬということになるのだ。^⑤思わず赤くなつたが、松江たち親子には、はつきりひびかなかつたらしく、ただ感謝のまなざしでうけとられた。

まもなく、^⑥赤ん坊が亡くなつたときき、松江のためにほつとしたのだが、松江はなかなかすがたを見せなかった。マスノヤコトエたちにようすをきいてもらちがあかず、先生はどうとう手紙を書いた。十日ほどまえになる。

——松江さん、赤ちゃんのユリエちゃんは、ほんとに、かわいそうなことをしましたね。でももうそれはしかたがありませんか、心のなかでかわいがつてあげることにして、あなたは元気をだしなさいね。学校へは、いつからこられますか。先生はマツちゃんのからつぽの席を見ては、マツちゃんのことを考えています。

早くこい　こい　マツちゃん。早くきて　みんなといっしょに、勉強しましょう。——

手紙は松江の家といちばん近いコトエにことづけた。しかしその手紙が、松江にとってどれほど無理な注文であるかを先生は知っていた。赤ん坊のユリエはいなくなつても、松江にはまだ弟妹が二人あった。五年生になつたばかりの彼女は、おさない頭脳と小さなからだで、むりやり一家の主婦の役をうけもたされているのだ。どんなにそれがいやでも、ぬけだすことはできない。父親をはたらきにだすためには、小さな松江がかまどの下をたき、すすぎせんたくもせねばならぬ。ひよこのようにきょうだい三人よりあつて、父親の帰りを待っているであろうあわれなすがたが目まえにちらつく。法律はおさない子どもを学校にかよわせることを義務づけてはいるが、そのために子どもをまもる制度はないのだ。

翌日、コトエは先生の顔を見るなり報告した。

「先生、きのうマツちゃん家へ手紙もっていったら、知らんよそのおばさんがきとった。マツちゃんおりますか、いうたら、おりませんいうたん。しかたがないから、これマツちゃんにわたして、いうて、そのおばさんにたのんできたん。」

「そう、どうもありがとう。マツちゃんのお父さんは？」

「知らん。見えなんだ。——そのおばさん、おしろいつけて、きれい着物きとった。マツちゃん家へ嫁にきたんとちがうかって、小ツルさんがいうんで。」

コトエはちよつとはにかみ笑いをした。

「⑥そうだと、マツちゃんも学校へこられていいけどね。」

それからまた十日以上たったが、松江はすがたを見せない。手紙は読んだろうかと、ふと心にかげのさす思いで、窓の下を見ていたのであった。ずがにを三びきとった正は、それをあきかんに入れて得々として石がきをのぼってきた。三角形のあき地にあるあんずの木は夏にむかって青あおとしげり、黒いかげを土手の上におとしている。

(壺井栄『二十四の瞳』より)

問一 — ①「川の漁師」とは何ですか。本文中の言葉を使って説明しなさい。

問二 — ②「小石先生もだまってながめていた」とありますが、その理由を書きなさい。

問三 — ③「そこに松江のすがたを見ることできない」とありますが、その理由として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 母親が亡くなったから。

イ 赤ん坊がいるから。

ウ 赤ん坊が亡くなったから。

エ 一家の主婦の役割をしているから。

問四 — ④「母親が亡くなってから」で始まるこの段落から、過去の内容になっています。では、現在の場面にもどってくるのはどこからでしょうか。その最初の六字を書きぬきなさい。

問五 ―⑤「思わず赤くなった」とありますが、なぜ小石先生は赤くなったのでしょうか。その理由を説明しなさい。

問六 ―⑥「赤ん坊が亡くなったとき、松江のためにほっとした」とありますが、赤ん坊が亡くなったのになぜほっとしたのでしょうか。その理由を説明しなさい。

問七 ―⑦「そうだと、マツちゃんも学校へこられていいけどね」とありますが、マツちゃんが学校へこられるのはなぜか、「そう」という指示語があらわす内容を示しながら答えなさい。

問八 この文章に出てくる「小石先生」について、あなたがとらえる人物像を理由も合わせて答えなさい。

□ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

東日本大震災を経験し、「幸せ」の価値観や人生観が大きく変わったという人は多いようです。2011年11月には、「GNH（国民総幸福量）」を国の発展の指標としているブータンの国王夫妻が来日され、「経済発展ばかりを追い求めているのだろうか？」とあらためて考え直した人も多いのではないのでしょうか。

GDP（国内総生産）は“豊かさを測るモノサシ”といわれます。ブータンは決して豊かな国とはいえません。2010年度のGDPで見ると161位。^①アジア諸国では最も貧しい国のひとつです。それなのに国民の約97%が「幸せだ」と答える。

日本のGDPは「中国に抜かれた」といっても、世界3位です。

^②でも、GDPを豊かさの基準としていいのか、という疑問は以前から出ていました。たとえば、自動車が増加することはGDPの増加につながります。車が増えれば、交通渋滞が激しくなり、時間は無駄になるし、大気汚染も広がります。しかし、それでガソリンの使用量が増えると、またGDPが増えるのです。

家族だんらん、家で食事をするときGDPはそれほど上がりませんが、家族がバラバラでも外で食事をすれば、それもGDPが増えることになります。

それって、何かヘンですよ。

内閣府は、「幸福度指標試案」を公表しました。日本でも幸福度を指標化して、日本のよい点、悪い点を明らかにし、国民の幸福度をあげていこうというのです。

自殺者が年間3万人もいる日本は、経済的には豊かでも「幸せ度」は低い国なのかもしれません。ちなみに、自殺率がいちばん低い国はギリシャです。

2009年には、フランスのサルコジ大統領が経済発展の指標に「幸福度」を盛り込む方針を打ち出しています。イギリスも幸福度の計測を検討中。実は北朝鮮も独自に「国民幸福度指数」なるものを発表していて、それによると中国が1位で、2位が北朝鮮という結果になっているのですが……、これはご愛嬌というよりは、ブラックジョークですね。

そもそもGNHを提唱したのは、ブータンの先代の国王、ジグミ・シンゲ・ワンチュクです。先代の国王は、王制だったブータンの政治改革に取り組みました。国王が全権を握っていると、とんでもない“ボンクラ”が国王になったら大変なことになる。議会制民主主義を導入して、国民から選ばれた代表が政治を担うべきだと国民を説得したのです。

このとき国民は「国王に引き続き政治の実権を握ってほしい」と直訴したといえますから、「アラブの春」とは正反対。

③ 上からの民主主義ですね。

しかも、51歳でさっさと国王の座を皇太子（現在の国王であるジグミ・ケサル・ナムゲル・ワンチュク）に譲り、自分は引退したのですから、どこかの国のトップとは大きな違いです。

ブータンの国民はチベット仏教の教えを大切にし、人々の絆を大切にする国民だそうです。経済的な豊かさよりも、心の豊かさや伝統的な社会・文化、自然を大切にします。

ただ、ブータンの国民は外の世界を知らないから、自分たちを幸せだと思えるともいえる部分もあるような気がします。日本はこれまで、「社会制度はヨーロッパをお手本に」「経済はアメリカをお手本に」と、常にどこかの国をお手本にしてきました。そしてついに目標を失い、「ブータンを目標に」と言い出しました。

日本はいま、国として「自分探し」「幸せ探し」をしているのかもしれない。

（池上彰『知らないと恥をかく世界の大問題3』より）

問一 ―①にあるように、アジア諸国で最も貧しい国なのに国民のほとんどが「幸せだ」と答えるのはなぜでしょうか。その理由が書かれているひとつづきの二文を探し、その最初の文の五字を書きなさい。

問二 ―②「でも、GDPを豊かさの基準としていいのか、という疑問は以前から出ていました」について、次の問いに答えなさい。

(1) この文のあとに例として「自動車」「食事」が挙げられています。その例を参考にして、GDPとは何か簡単に説明しなさい。

(2) なぜ―線②のような疑問が出るのか、あなたの考えを書きなさい。

問三 ―線③「上からの民主主義」とありますが、どういう意味ですか。説明した次の文の() A、Bにあてはまる言葉を考えて書きなさい。

・普通なら国王は() A () ものであるが、ブータンの国王は() B () から。

問四 この文章の「今の日本は幸せ度が低い」という意見に対して、賛成か反対の立場を明確にした上で、あなたの意見、考えを書きなさい。ただし字数は百二十字以上、百六十字以内とします。

三 次の各問題に答えなさい。

問一 次の①～⑤の―線部の漢字には読み仮名をつけ、⑥～⑩の―線部の仮名は漢字に直して書きなさい。必要に応じて送り仮名もつけなさい。

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| ① ヨーロッパの <u>古城</u> 。 | ② <u>株主</u> 総会に出席する。 |
| ③ <u>穀倉</u> 地帯の視察に行く。 | ④ <u>上背</u> がある友だち。 |
| ⑤ <u>縦</u> に並べる速さを競う。 | ⑥ <u>フクザツ</u> な事情。 |
| ⑦ 商店を <u>ケイエイ</u> する。 | ⑧ <u>ムダン</u> で外出する。 |
| ⑨ 飼い犬を <u>あずける</u> 。 | ⑩ 主役から <u>しりぞく</u> 。 |

問二 次の①～⑤の漢字の、() 内に指定された数字の書き順にあたる画を、解答用紙の漢字上になぞりなさい。

- | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| ① 王 (三画め) | ② 馬 (四画め) | ③ 有 (二画め) | ④ 発 (四画め) | ⑤ 帯 (五画め) |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|

問三 次の熟語の反対の意味を表す言葉を、あとの語群から選び、漢字に直して書きなさい。

- ① 収入 ② 複合 ③ 輸入 ④ 大陸 ⑤ 質問

《語群》

・ゆしゆつ ・ししゆつ ・たんいつ ・かいとう ・かいよう

受験番号
氏名

一

問八	問七	問六	問五	問三	問二	問一
				問四		

二

問四								問三	問二	問一																																																					
								A	(2)	(1)																																																					

160 120

三

問三	問二	問一	
①	①	⑥	①
	王		
②	②	⑦	②
	馬		
③	③	⑧	③
	有		
④	④	⑨	④
	発		
⑤	⑤	⑩	⑤
	帯		

受験番号	氏名
------	----

問一	わずかな遊び時間に川において、うなぎをとろうとする子どもたちのこと。
問二	川の水量は、くるぶしをかくすかかくさないかというほどなので、子どもたちが遊んでも危険はないから。
問三	工
問四	それからまた
問五	赤ん坊の死を望むような発言をしてしまって申し訳なく思ったから。
問六	これでやっと松江も学校に来られると思って安心したから。
問七	「おばさん」が松江の家の嫁であれば、一家の主婦の役割を松江がしなくてもいいから。
問八	学校に来られない松江のために家をたずねたり、手紙を書いたりすることから心優しい人物であり、同時に、子どもたちの発言からも、子どもたちから好かれている人物であることがわかる。

問一	ブ	問一	160
問二	(1) 自動車が生産されたり、ガソリンや食事などが消費されたりする、その総和のこと。 (2) 工業生産が増えても、大気汚染など、いいことばかりではないと考えるから。	問二	120
問三	A 全権を握ろうとする B 議会制民主主義を導入しようとした	問三	
問四		問四	

問一	① こじよう	問一	①
問二	② かぶぬし	問二	②
問三	③ こくそ	問三	③
問四	④ うわぜい	問四	④
問五	⑤ たて	問五	⑤
問六	⑥ 複雑	問六	⑥
問七	⑦ 経営	問七	⑦
問八	⑧ 無断	問八	⑧
問九	⑨ 預ける	問九	⑨
問十	⑩ 退く	問十	⑩

〈配点〉 一問一・二・五・六各5点×4＝20点、問三・四各4点×2＝8点、問七・八各6点×2＝12点
二問一・二・三各4点×5＝20点、問四10点、三問一1点×10＝10点、問二・三各2点×10＝20点
〔計100点〕